

5. 液晶プロジェクターを用いた発表の試み

近年液晶プロジェクターを用いた発表は一般的になりつつあり、本学次学術講演会での使用要望も多い。しかし、90分で8本以上という一人当たりの持ち時間が少ない発表におけるファイルの取り扱いや議事進行への対応、発表会場すべてにプロジェクターを設置することの難しさ等全国大会で液晶プロジェクターを採用することには多くの課題がある。そこで本大会ではこれらの問題点の検討を行うべく、第 〃 〃 〃, CS 部門 (計 20 セッション) において液晶プロジェクターの試行を行うこととした。プロジェクターは会場備え付けのものに加え、学内および関係機関から借用したものを扱い、発表者の事前確認用に各部門の休憩室にも1台ずつ設置した。液晶プロジェクターを用いる場合には事前にメールでその旨を事務局に連絡し、発表 90 分までに各発表会場前のファイル受付に FD または CD でファイルを提出し、事務局側で1セッション分のファイルを会場のパソコンにまとめてインストールする方法をとった。そのため、各セッションに発表用、ファイル受付用計2台ずつのノート型パソコンを用意するとともに、アルバイト学生の増員を行った。この結果、ごく一部持参したファイルが読み込めない等のトラブルはあったものの、予備の OHP シートで対応可能であった等、概ね大きなトラブルはなかったものと考えている。現在発表者及び座長に対し今回の試行に対するアンケート調査を行っているところであり、これに要した費用等をも含め、液晶プロジェクターの取り扱いについての今後の検討に対し、貴重なデータを提供できるものと考えている。

(学術部会第 〃 部門 副班長 高野伸栄)